

科目名称：	英語コミュニケーションⅠ（美術学科）	
担当者名：	ウィンフィールド・レズリー・ブラッド	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
A series of workshops focusing on image making. Students will learn the English language in the context of arts and design through the workshops. Each workshop will be preceded by a short lecture. Which in turn will give the student a The classes will focus on the English language in the context of creative arts and design. Vocabulary, terminology and descriptive, critical phrases will be introduced to the students, furthering their understanding of art, design, and culture. broader knowledge of that classes task and help guide them on the path to creating a unique image in the time allotted. Examples will be shown from all over the world, and students will be encouraged to take a step out of their comfort zone.		
授業の達成目標・到達目標		
1. To encourage students to participate and engage in a range of creative workshops. 2. To build confidence, so that the students are able to share their ideas and inspirations with others in English.		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	○
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)	0	30	35	35	100
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
リスニング、会話、文章作成	担当教師と英語でコミュニケーションができ、考えを表現できる。英語で他者の理解をサポートできる。	担当教師と片言であっても英語でコミュニケーションができ、考えを表現できる。	担当教師と英語でコミュニケーションし、考えを表現しようとする意欲があり、辞書などを活用しながらでも意思疎通できる。	担当教師と英語でコミュニケーションする意欲が見られない。指示などを理解できず、回答する姿勢が見られない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 インTRODクシヨン	シラバスを読む	20分
第2回 ワードゲーム1-アクティブラーニング:グループワークによる問題解決、リサーチなど	前回の授業の学習内容をまとめる	30分
第3回 ホームタウン-ペアディスカッション、小プレゼン	前回の授業の学習内容をまとめる	30分
第4回 ワードゲーム2-アクティブラーニング:グループワークによる問題解決、リサーチなど	前回の授業の学習内容をまとめる	30分
第5回 方向-ペアワークとリスニング	前回の授業の学習内容をまとめる	30分
第6回 中間レベルチェックのガイダンス	前回の授業の学習内容をまとめる	30分
第7回 中間レベルチェック	第1~6回の授業の学習内容を復習する	30分
第8回 音=リスニング	前回の授業の学習内容をまとめる	30分
第9回 形と物-アクティブラーニング:グループワーク、ディスカッション	前回の授業の学習内容をまとめる	30分
第10回 ワードゲーム3-アクティブラーニング:グループワークによる問題解決、リサーチなど	前回の授業の学習内容をまとめる	30分
第11回 口頭プレゼンテーションガイダンス	前回授業の復習/プレゼン準備	30分
第12回 普通の英語	前回授業の復習/プレゼン準備	30分
第13回 迷信にまつわる話-ペアワークと会話	前回授業の復習/プレゼン準備	30分
第14回 感覚	前回授業の復習/プレゼン準備	30分
第15回 口頭プレゼンテーション	プレゼンテーション用の資料作り	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、授業で学んだ内容をまとめたりプレゼンテーションの準備をしたりする。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

クイズ・小テスト30%、提出課題35%、その他35% (課題への積極的取り組み15%、授業への積極的参加 20%)

#### 課題に対してのフィードバック

課題や他のプロジェクトに対するフィードバックは、授業内で示されます。

#### 教科書・参考書

指定のワークブックを購入すること。(授業で使用する教材とリンクするオリジナルのワークブックの為、必ず購入して下さい。)